



令和4年度自然環境保全技術セミナーを開催しました

環境コンサルティング部環境調査課では、自然環境保全に関する新しい知見や技術を広く紹介させていただくため、自然環境保全技術セミナーを開催しています。令和4年度は、「生物多様性保全のこれから-30by30（サーティバイサーティ）達成に向けた保全の進め方-」と題したセミナーを11月11日に開催させていただきました。

30by30とは、2030年までに地球の陸と海の30%以上を保全しようとする目標であり、昨年12月にカナダで開催された生物多様性条約の締約国会議（COP15）において、新たな世界目標として採択されたものの一つです。環境省はこの目標の達成に向け、令和5年度から民間の緑地等を「自然共生サイト（仮称）」として認定する制度をスタートさせる予定です。

こうした国内外の動向を踏まえ、今回のセミナーでは環境省東北地方環境事務所長の田村氏、三重県農林水産部みどり共生推進課の坂口氏、株式会社豊田自動織機の山肩氏をゲストにお迎えし、国・県・民間企業それぞれの生物多様性保全に関する取り組みについてご紹介いただきました。当日は、会場に加えてオンラインでも多数の皆様にご参加いただき、「どのような場所が認定対象となるのか」などの議論も交わされ、生物多様性保全への関心の高まりがうかがえました。

今後は生物多様性保全の主流化が一気に加速するものと考えられ、当課では、これまでに積み重ねてきた環境保全に関する幅広い知識や技術を用いて自然環境調査、自然再生、ビオトープづくりなどのお手伝いをさせていただきたいと考えております。社有林や工場緑地などを有効活用したい、新たに緑地やビオトープをつくりたいといったご要望がございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 環境コンサルティング部 環境調査課
tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

万葉人の 愛した草木



あしひきの 山道も知らず 白樫の
枝もとををに 雪の降れば

柿本人麿歌集（巻十の二三一五）

「しらかしの木の枝がたわむほど雪が降り積もっているの、山道をどう行ってもよいかわからない」と山中の雪の深さに驚嘆するとともにその美しさを楽しんだ歌のようです。

シラカシは材の色から名づけられたもので、別名をクロカシともいいます。これは樹皮が灰色乃至黒色になることから呼ばれたものです。防風林、または生垣として、刈り込みがきくので広く用いられています。寒さにも強く、本州の内陸部にも自生しています。よく似たなかにウラジロガシがあります。葉で区別できません。即ち、シラカシは葉の中肋が凹入するがウラジロガシは凹入せず、葉裏は白色で上半身の鋸歯は鋭いので、よくわかります。



しらかし
葛山博次著
「万葉集の植物」
補筆より



事故対応訓練を実施しました

廃棄物管理部では、2022年10月11日（火）に事故対応訓練を実施しました。今回の訓練では、廃棄物搬入車両の事故発生及び廃棄物の流出を想定し、事故対策本部の設置、携帯無線機等の防災資機材の活用、危険物漏洩時の対応について検討しました。本年度からは、無線機に加えて画像伝送による状況報告も取り入れ、迅速かつ的確な情報共有を図りました。これからも訓練を継続し、職員の防災意識の向上と防災の基礎知識・技術の習得を目指します。



事故対策本部の設置
(無線と画像伝送で報告を受ける)



土壌の作成方法と積み方を確認する職員

お問い合わせ先 廃棄物管理部 管理課
tel 059-328-2567 fax 059-328-2967

■河芸社屋
〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■廃棄物処理センター（廃棄物管理部）
新小山最終処分場
〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-2967
施設課 tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

●事業団への御意見・御希望又は「みえか」の御感想をお寄せ下さい。e-mail : mec@mec.or.jp



建設工事に伴い発生する土砂等の搬出、埋立ての適正化について

国土交通省の調査（平成30年度建設副産物実態調査）によると、建設工事等に伴い発生する土砂等の半分近くが発生した現場内では利用されず場外に搬出されています。これらの中には、谷地の埋立てや農地の嵩上げ等に使用され無秩序に積上げられる例も多く見られ、静岡県熱海市では大雨により崩落した盛土が土石流となり、多くの住宅を飲み込むという痛ましい事故も実際に発生しています。このように土砂等が埋立てされた地域の周辺では崩落事故の発生や有害物質の混入等による生活環境への影響についての不安が常に生じています。

しかし三重県ではこれまで、土砂等の埋立て等に関して県内統一的な規制制度がなく、県民の不安を払しょくするためには従来の法律や条例だけでは十分に対応することが出来ませんでした。

そこで、土砂等の埋立て等の行為による災害を未然に防ぐとともに、汚染された盛土による生活環境への影響を防ぐことを目的として「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」が制定され、令和2年4月に施行されました。

＜土砂等の搬出・埋立ての際は事業団にご相談ください＞

事業団では、「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」に合わせた試料の採取及び水質・土壌検査に対応させて頂いております。また、土砂等の埋立て等の申請から完了（廃止）まで、お手伝いさせていただきます。

建設工事に伴い発生する土砂等の搬出、埋立ての適正化に関するお問い合わせは、以下の通りでお願いします。

お問い合わせ先 科学分析部 営業チーム tel 059-245-7501 fax 059-245-7516



事業者の脱炭素経営入門

「気候変動時代の競争力」

中部ブロック7県の地球温暖化防止活動推進センターが共同で開催する「脱炭素経営セミナー」のご案内

9月に開催した脱炭素経営セミナーの第2弾として開催するセミナーです。第1弾セミナーでは「企業がなぜ脱炭素経営に取り組むことが必要なのか」について解説しました。

そこで、第2弾セミナーは、「COP27で何が決まったのか、その結果、国内企業に求められる脱炭素経営の具体策は何か」について解説します。

脱炭素経営がよく分からないとお思いの企業経営者、御担当の方々、是非視聴ください。

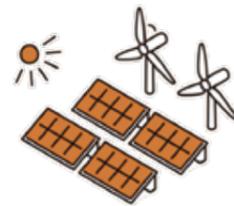
日時：2023年1月24日（火）11:00～12:00 オンライン開催

対象：中部7県の事業者、またはご興味のある方

応募方法：三重県地球温暖化防止活動推進センター
<https://forms.gle/qf5vvkZPL9cUyzNd8>



お問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター
 tel 059-245-7517 fax 059-245-7518
 ホームページ <http://www.mec.or.jp/ondan>
 E-mail mccca@mec.or.jp



セミナー情報

★ ISO14001（2015）内部監査員養成セミナー

★ ISO9001（2015）内部監査員養成セミナー

組織の環境負荷の低減などにつながる環境マネジメントシステムや、品質管理の強化につながる品質マネジメントシステムについて、基となる規格の解説や内部監査の手法などについて学んでいただきます。

① ISO14001（会場参加型）

2023年 2月16～17日（9時～17時）

② ISO9001（会場参加型）

2023年 2月27～28日（9時～17時）

③ ISO14001（ZOOMによる遠隔型）

2023年 3月16～17日（9時～17時）

④ ISO9001（ZOOMによる遠隔型）

2023年 1月26～27日（9時～17時）

すべて参加費：40,000円/1人（JIS規格書付・消費税別）【会場参加型は昼食付】

※参加申込者が催行人数に達しないときは、中止する場合がございます。ご了承ください。

※上記の他、企業様に合せた出張セミナーも承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 環境コンサルティング部 セミナー担当
 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519 ホームページ <http://www.mec.or.jp>

JFS-A/B監査会社登録のお知らせ

2018年6月にHACCPの順守を制度化する改正食品衛生法が成立したことにより、全ての食品事業者に、HACCPに沿った衛生管理の実施が求められています。2019年10月当事業団は、HACCPに対応したJFS-A/B規格の監査会社として登録されました。

またJFS規格・HACCPのコンサルティングも随時実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 環境コンサルティング部 コンサルティング課
 tel 059-245-7514 fax 059-245-7524